

#### IV.血清学的検査

検査項目	項目名	単位	基準値範囲	意義
RPR(梅毒脂質抗体)	迅速プラズマレアギンテスト	R.U	0~0.99	梅毒脂質抗体を調べる検査です。感染から4週間程で陽性となります。膠原病などでも陽性となります。
TPLA	梅毒トレポネーマラテックス凝集反応	T.U	0~9	血清中の梅毒に対するTp抗体を調べる検査です。感染後、高率で陽性となります。
HBs-Ag	B型肝炎ウイルスS抗原	IU/ml	(-)0~0.04	肝炎にはA型,B型,C型と大きく3つに分類されるがHBs抗原の検出はB型肝炎ウイルス(HBV)の存在を意味します。
HBs-Ab	B型肝炎ウイルスS抗体	mIU/mL	(-)0~9.9	陽性の場合、かつてB型肝炎ウイルスによる感染を受けたこと、またはワクチン接種を受けたことを表します。
HCV-Ab	C型肝炎ウイルス抗体	S/CO	(-)0~0.99	陽性の場合、C型肝炎ウイルスによる感染状態にあることを意味します。C型肝炎の診断・疑い・既往疑い・供血スクリーニング検査として行います。
HIV1・2抗体	ヒト免疫不全ウイルス抗体	S/CO	(-)	陽性の場合HIVによる感染を疑います。
RF	リウマトイド因子	U/mL	0.0~20.0	リウマチ因子と呼ばれる自己免疫抗体(自分を異物としてしまう蛋白質)のことです。慢性関節リウマチ、膠原病などの疾患で高くなります。
CEA	癌胎児性抗原	ng/ml	5.0以下	消化管の悪性腫瘍を中心に最も汎用的に用いられる腫瘍マーカーです。高齢者や喫煙者で若干高い値を示す傾向があります。
CA19-9	癌関連抗原	U/ml	0~37.0	膵癌・胆道癌等、各種消化管癌で上昇します。血液型Lewis抗原の影響を受けます。
CA125	癌関連抗原	U/ml	35.0以下	主に卵巣癌に有効な血中腫瘍マーカーです。子宮内膜症と子宮筋腫の鑑別にも用いられます。
PSA	前立腺特異抗原	ng/ml	4.000以下	前立腺上皮細胞で特異的に産生される糖蛋白で前立腺癌、前立腺肥大などで高くなります。
TSH	甲状腺刺激ホルモン	μIU/mL	0.35~4.94	脳の下垂体から分泌されるホルモンです。甲状腺ホルモンの分泌量を調整する働きをします。
F-T3	遊離トリヨードサイロニン	pg/mL	1.71~3.71	甲状腺から分泌されるホルモンです。自律神経や身体的活動の調節など様々な働きをします。
F-T4	遊離サイロニン	ng/dl	0.70~1.48	値が高いとバセドウ病などの甲状腺機能亢進症が考えられ、値が低いと橋本病などの甲状腺機能低下症が考えられます。